

学校保健と地域との連携に関する研究 (2)

— 医師会員が養護教諭に期待する内容 —

金山時恵 (新見公立大学看護学部)、郷木義子 (就実大学教育学部)

森 宏樹 (就実大学教育学部)、廣原紀恵 (茨城大学教育学部)、

棟方百熊 (岡山大学教育学部)

A study on school health and cooperation with local medical doctors (2)

— The expectations of medical association members concerning Yogo teachers —

Tokie KANAYAMA (Niimi College), Yoshiko GOHGI (Shujitsu University), Hiroki MORI

(Shujitsu University), Toshie HIROHARA (Ibaraki University),

Hokuma MUNAKATA (Okayama University)

抄録

児童生徒の健康問題はより深刻化、複雑化の一途をたどり、学校だけでの対応や解決は非常に困難になってきている。従来の健康問題に加え、メンタルヘルスやアレルギー疾患等専門的な対応が要求されるなど、特に医療機関等との連携を必要とする児童生徒が多くなっているのが現状である。そのため、学校保健がその役割を十分果たし、児童生徒の健康問題解決のため地域の専門機関との連携をより強化することが重要になってきている。本研究は地域において子どもたちの健康問題と深くかかわっている、地域の医師会員が養護教諭に期待する内容に関する記述を分析した結果を明らかにし、今後学校保健と地域との効果的な連携の在り方を探るための基礎資料とすることを目的とした。その結果、【今のままで良い】【コミュニケーション】【スキル向上への取り組み】【社会の理解につながるための取り組み】【チームによる支援】【養護教諭としての役割】の6つのカテゴリーが抽出され、地域における医師会員は養護教諭の専門性を理解しながら、その役割を担ってほしいと期待していることが示唆された。

キー・ワード：学校医、養護教諭、地域、連携